

学校運営協議会(第2回) 議事録

校名	大阪府立河南高等学校
校長名	仲谷 浩

開催日時	令和7年12月19日(金) 15:00～16:10
開催場所	大阪府立河南高等学校 校長室
出席者(委員)	吉川測雄 委員(委員長)、山根眞一 委員、恵島明 委員、米野元則 委員
出席者(学校)	仲谷校長、山田教頭、石川事務長、竹田首席、田中首席、永田教諭、池谷教諭
傍聴者	なし
協議資料	授業アンケート結果、教科書選定の経緯、広報関係活動報告、学校教育自己診断授業力PT活動報告、進路状況(中間報告)、行事報告 等
備考	

議題等(次第順)

- ①授業アンケート結果
- ②教科書選定の経緯
- ③広報関係活動報告
- ④学校教育自己診断等
- ⑤授業力向上チームより活動報告
- ⑥進路状況～中間報告
- ⑦今年度の学校行事を終えて

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 校長挨拶
 - ・今年定員割れをしている学校はほとんどがクラス数減になっている。そんな中でも河南高校は7クラスを維持した。明日は第2回学校説明会であるが、こちらも昨年度よりも参加者が多い。79期生がマレーシアへ修学旅行にいった。大阪では河南高校だけである。
- 修学旅行報告
 - ・修学旅行の日程、プログラムの説明。学校交流とB&Sの説明。学校交流では、先方の高校から河南高校は積極的な生徒が多く楽しかったと聞いた。B&Sでは自分たちが立てたプログラムでクアラルンプールを堪能し、学んできた英語が通用することを実感できたのではないかと。海外へ行くことへのハードルが下がり、また行きたいという気持ちになるのではないかと。
 - ・コロナ禍では行けなかった海外にいくことができた。海外でしか体験できないことを経験できた。今後の進路にも大きなきっかけになる。
- 授業アンケート結果
 - ・令和元年度からアンケート結果の数値は年々高くなっている。今年度も昨年度より高かった。第1回目の方が2回目よりも高かった。
- 教科書選定の経緯
 - ・教科科主任が中心となり、各教科の教科書を選んだ。基礎から応用まで取り扱っているなどの理由で選択した。
- 広報関係活動報告
 - ・昨年度と同様、外部の説明会に参加した。公立私学フェアでは例年と変わらず大盛況であった。またクラブ体験や、説明会の参加者数も増えている。
- 学校教育自己診断について
 - ・一部質問文の変更がある。また回答の選択肢に「わからない」を加えた。昨年度も「わからない」の回答を作ってほしいという要望が多かった。数値は「分からない」という回答を分母から減らす形で集計する。
- 授業力向上PT活動方向
 - ・思考力を高める授業づくりと評価をテーマに取り組んだ。PTでグループを作成し、授業見学を実施。またそのグループで研究協議を実施。河南高校の生徒は、知識はあるがそれを活用する力が弱いのではないかと。授業でたくさん考え、試験で成果を問うという流れが望ましい。石井先生からも「まずは知識をしっかりと身に付けたい」と思考力のいる問いを解けないという考えがちなが、そうではなく、知識と思考を同時に指導していくこともできる。
- 進路状況
 - ・ほとんどが大学進学。短大や専門学校への進学は減っている。共通テストは87名と昨年度よりも減少した。入試の多様化により総合型などで合格する生徒も増えている。早くに決められる入試方式を選ぶ生徒も増えている。多くは一般での受験になるのでこれから結果を待つ形になる。就職については警察や消防、民間就職の合格を勝ち取っている生徒もいる。
- 今年度の学校行事を終えて
 - ・体育大会、カジュアルデー、フェスティバルの説明。体育大会は天候不良もあったが、生徒の主体性もあり、無事に開催し、高いパフォーマンスを見せてくれた。カジュアルデーは広報から意見も上がり、自治会の生徒主体で実施することができた。その流れもあり、フェスティバルでも例年よりも規制を緩和し、自由度を高めた。その結果「例年よりも楽しかった」等回答を多く得られた。またフェスティバルでは支払い方法に「PAY PAY」を導入し、会計を円滑にした。今後の自治会活動として地域清掃や食堂の新メニュー考案を予定している。
 - ⇒八尾翠翔高校の取り組みの記事を持参され、河南高校の取り組みを称賛された。
 - ⇒カジュアルデーなどは良い取り組み。河南高校の生徒がしっかりメリハリをつけてできるからこそ意味がある。根底が崩れたら継続が難しくなるが、こういった取り組みを是非続けてほしい。
- 校長挨拶
 - ・公立高校も学校が定員割れをし、保護者も行きたい学校とそうでない学校を仕分けている。クラス数を維持できていることはいろんな意味で認められているということ。

次回の会議日程	
日時	令和8年3月24日(火)
会場	大阪府立河南高等学校 校長室